



1. 大学の経営活動における本事業の位置づけ

◇ 産学連携活動に関する大学のビジョン

「理学の普及を以て国運発展の基礎とする。」（建学の精神）

➡ 自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術を創造する。

◇ 本事業を実施するにあたっての目標

- ・ イノベーションを継続的に創造する。
- ・ 人の健康、幸せ、地球環境を踏まえて社会の持続的発展に貢献する。
- ・ グローバルな産学連携を通じて人材を育成する。

1

2. 評価モデル構築事業の概要と成果



【事業の概要】

モデル構築事業（全学で展開）

【目的】 産学連携活動を可視化するPDCAサイクルのモデルを構築することにより、経済成長の源泉である連続的なイノベーション創出を図る。

【新たに追加する評価指標の観点】

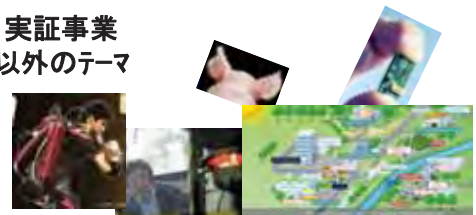
- * 異分野・境界領域の科学技術の巻き込み
- * 知財群のいっそうの活用推進
- * グローバル展開
- * 人材育成

モデルの適用

状況を報告

モデル実証事業

持続可能社会に貢献する「自動車向け熱電変換モジュール」の開発

実証事業
以外のテーマ

【評価制度の学内・学外への浸透の取組】

- ・ 学内：TLO・コーディネーターが産学連携の情報を共有し、担当教員に伝える。
- ・ 学外：* 国内、海外の産学連携推進機関との相互訪問、意見交換を実施。
* 産学連携関連の会合（知財群WG, 埼玉県大学間連絡会など）での意見交換

2

【取り組み】

平成25年(2013年)			平成26年(2014年)		
10月	11月	12月	1月	2月	3月

モデル構築事業

モデル推進委員会
(出席者:コーディネーター、教員、産業界から)

学内研究テーマについて指標による評価

情報収集・学内水平展開

- * 産学が一体となったPDCAサイクルの実施
- * 異分野・境界領域の技術の巻き込み
- * 知財群の活用
- * グローバル展開
- * 人材育成

学外との連携

連絡会(経産省、埼玉県大学間連絡会、知財群WG)

産学連携推進機関(産学官)訪問・来訪

委託調査

知財の連携・補完の動向

グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション分野の国際産学連携動向

モデル実証事業

プロジェクト推進会議(PDCAサイクル)

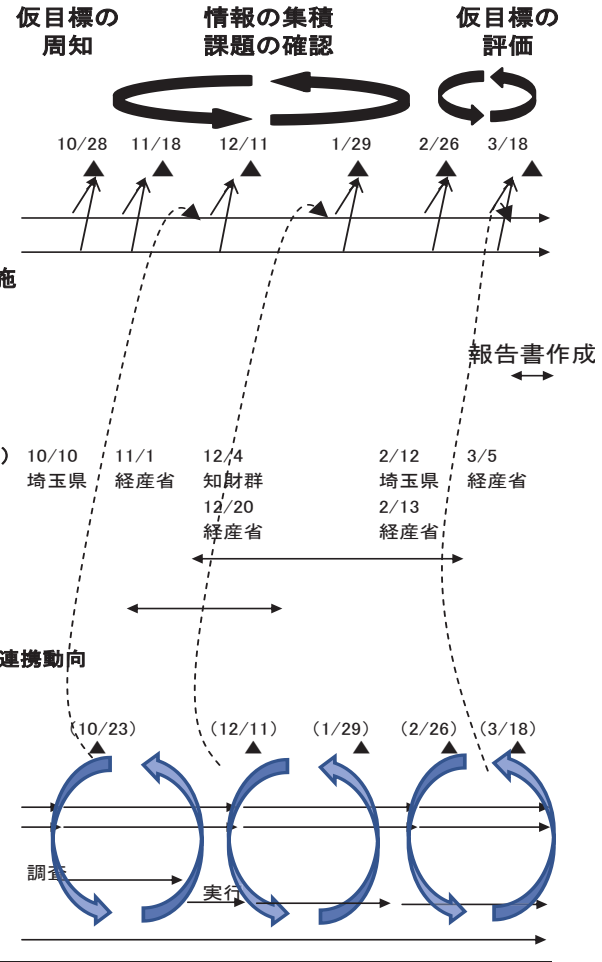
研究開発推進

研究基礎

試作・評価・解析

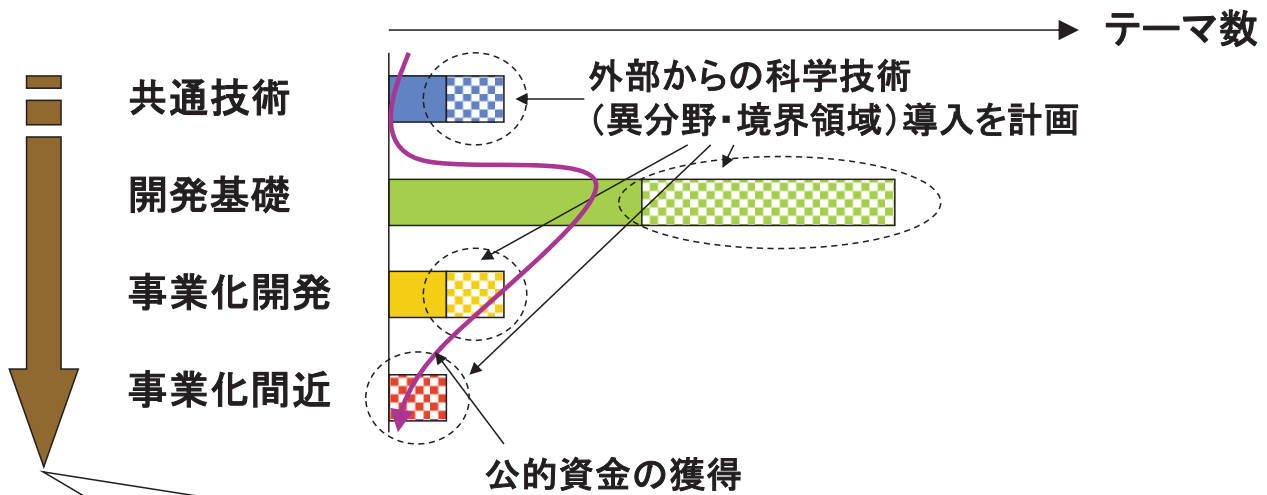
異分野・境界領域の技術の巻き込み
知財の強化

グローバル展開



【実績】

◎ 産学連携研究テーマ(学内)の研究ステージと指標による評価・制度改革



- ・PDCAサイクルの機会増大
- ・海外の機関へのMTA実施
- ・海外研究機関との共同研究増大
- ・メディアによる紹介の機会増大

◎ 人材の育成

- 産学連携プロジェクトに社会人が参加しやすくする仕組み作り
→ 大学と産業界との間で継続的な人的交流、共同研究を実施
- 社会人の博士号取得の奨励 → 産学連携推進テーマで今年度2名の見込み
- 大学から産業界に学生を派遣しやすくする制度の策定 → 未達

3. 構築した評価制度や制度改革の課題と今後の展望



- 研究テーマの内容・ステージが一様ではなく、全学に一様の評価を適用することが難しい。
 - * 理論・基礎科学(分析科学・計算科学)から製品試作検討にわたる。
 - * 研究初期(シーズ探索)から事業化間近におよぶ など多様。→ 研究の内容・状況に応じて、評価方法および重み付けを検討。
- 大学内に普及・定着化；他大学への展開
 - ① 成功事例を発信する。
 - ② 大学内においては、コーディネーターが教員と連携し、趣旨を伝え推進する。
- 多様な科学技術分野を巻き込んだ取組
 - 知財群の拡大、活用
 - 任意団体「大学知財群活用プラットフォーム(PUIP)」活動開始
- 今後追加したい指標：
 - ① 産学連携による グリーンイノベーション、ライフ イノベーション推進への貢献
 - ② ベンチャーの開始、学会、業界などからの受賞を評価。
- 優れた論文発表の推進

5

4. 実証事業の対象となった産学連携による研究活動の成果

- ◎ PDCAサイクルの実行：プロジェクト推進会議を定期的で開催（1回/月）
- ◎ 多様な科学技術の導入：導入に向けた検討を開始
 - ただし、知財群の活用は今後の課題
- ◎ グローバル展開の推進：国際標準化を目指し、欧州関連機関との連携推進
国際学会において発表・発信（3回）
- ◎ 人材育成：学生の企業訪問・研究を実施；社会人の大学への受け入れ

◎ 研究開発の目標と成果

- ・実験室スケール、商業用試作スケールにおいて、性能、製造規模など目標達成
具体的な項目：

発電能力	熱電特性	再現性
製造の歩留	生産スケール	

関連する物質(ガラス膜など)の合成
- ・欧州標準化策定プログラムへの参画と評価用サンプルの提供



6